

FOR ALL, ALL FOR ONE

ベースボールマガジン

9

SEP. 2002
No. 359

TO THE RWC 2003

★ MATCH REVIEW / アジア最終予選 ★ INTERVIEW / 元木由記雄[CTB]
★ SPECIAL TALK / 大畑大介、栗原徹、小野澤宏時[BACK THREE]

第5日本代表、
W杯出場決定!



特別定価 820円

ベースボールマガジン社

<http://www.bbm-japan.com>

★カップトーナメント

Maccohs	0	
小田原ボンバズ	4	0
マジックマッシュ	4	6
摂南大学	8	4
POPCORN	7	7
いっちゅう	7	4
アミノ酸	7	12
Bears A	8	8
小田原ボンバズ	4	3位決定戦
いっちゅう	8	いっちゅう

★プレートトーナメント

田辺工業(株)	3	0
同志社エルフィンズ	3	0
Boo-Boo's	10	9
アザレアーズ	0	0
大阪スーパーモンキーズ	10	0
スティッカーズ	0	0
ハバナクラブ	0	7
Germs	0	0
田辺工業(株)	3	3位決定戦
大阪スーパーモンキーズ	10	大阪スーパーモンキーズ



↑小田原、ロングフロントパスからスーパーバードイフ
↑決勝戦、摂南大の攻撃に必死でくらくらいつくがT
シャツをつかんでいるようにも、これぞ技?



プレート優勝 ハバナクラブ



カップ優勝 Bears A



プレート準優勝 Boo-Boo's



カップ準優勝 摂南大学



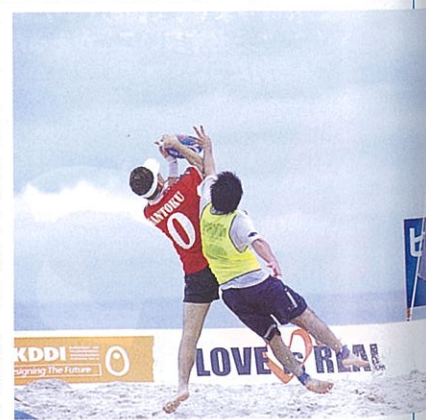
プレート3位 大阪スーパーモンキーズ



カップ3位 いっちゅう



↑インゴール内でのキャッチか、カットの攻めぎ合
↑マン・ツーマンの防御。パスをしたいが味方は



がわからなくなっていた。そんななかでの Bears A の優勝。「華麗なプレーはないが、組織的な攻撃と防御が確立されていた。しっかりとしたゲームプランがあるからミスも少ないし大崩れもしない。誠実、ひたむきさが今回の勝因」と、若狭事務局長は Bears A のビーチへの取り組みを称えた。

華麗なプレーに流れがちな昨今のビーチ。しかし、「原点回帰」も必要と、白浜が教えてくれたそんな大会となった。

Bears A、初栄冠を決定つけた瀬越選手のダイビングタッチイン



BEACH FOOTBALL 2002

SHIRAHAMA LIMITED
ビーチフットボール白浜大会
6月30日 / 和歌山県白浜海水浴場



白浜独特の深い砂に、攻守ともに足をとられる



2002シーズルの開幕。梅雨空を一気に蹴散らした開会式



小田原といっちゅう、試合後のパフォーマンス。サッカーW杯で見たような...



地元・紀州名産の梅干がふるまわれ、残った種を缶カラへ、ターゲットゲーム

雨二も負けず、白浜で熱戦の火蓋!

地元・Bears、ひたむきなプレーで摂南大の3連覇阻む
2002年のビーチフットボールシーンがいよいよスタート。今年は何んな戦いが待っているのか、プレーヤーもファンも期待に胸膨らませている。第1戦は今年も白浜にて。あいにくの雨に見まわれたが、その熱気は梅雨のうっとうしさを吹き飛ばすに十分だった。今シーズン初の栄冠は、地元・Bearsに。華麗なプレーで押しきるこれまでの「常勝」を覆す、新しいタイプのチャンプ誕生に沸いた。

梅雨の真つただなで行われる白浜大会。今年も雨模様なのでの開催となったが、そこは白浜。晴天では苦しめられるサラサラの砂も、雨をほどよく含んで素足にしっかりとくっつくピッチに早変わり。途中、強い雨で試合が中断される場面もあったが、シリーズ最初のチャンプ目指して選手たちはおおいに暴れてくれた。

摂南大の3連覇に注目が集まるなか、その摂南大を12-4の大差で下して優勝したのは Bears A。地元出身の地の利を生かし、雨の降り具合で微妙に変化する砂も、風も、地元の声援も、すべてを味方にして初の栄冠を手にした。

「Bears A の優勝は、今後のビーチシーンを変えていくきっかけになるかもしれない」と若狭事務局長。決勝トーナメント進出をかけた一戦で早くも POPCORN と海人が対戦し、「事実上の決勝戦」と言われたが、10回にもおよびマッチポイントを制して決勝トーナメントに進出したその POPCORN が初戦で敗退。集中力が切れミスも続出したのが敗因だったが、これで優勝の行方